環境問題

Q 再エネ規制条例の検討は

A 考えていない。

山下　太陽光発電整備事業社のメガソーラーの把握は出来ているか。

町長　開発行為や景観法の対象にもなっていないので把握していない。

山下　メガソーラーなどの大型開発は保水力が低下する。U字構や溜枡などの排水整備管理、道路の確保など安全確保が必要だが規制や指導をかけられない状況か。

町長　近隣住民からの問い合わせ等もあり、県に問合せたが何の規制もない状況。

山下　近隣住民からも問い合わせがあるが、区民や区長さんの為にも町独自のマニュアルを作成できないか。

町長　マニュアル化は難しい。開発事業者には地元へ説明会を行う様、指導している。

山下　昨年7月に静岡県の熱海市で土石流災害が起き大変な被害があった。国では盛土規制法案が閣議決定されたが、今後の町の対応は変わるか。

町長　盛土規制法案の具体的な内容の把握はできていないが、条例制定は広域行政を担う県が行い、町は協力する形になる。

山下　茂 議員

Q 町のカーボンニュートラルへの考えは

A 具体的な取り組み方を明らかにする。

山下　3月に（株）アズマ、やめエネルギー（株）と広川町で結んだ協定の内容について伺う。

町長　町の第4次計画に示す自然と共生する快適なまちの目標を実現する為にカーボンニュートラルの実現と地域活性化に関する協定連携を結んだ。中身については協議中である。

山下　環境省の再エネ導入ポテンシャルでは現状の4倍の導入が求められるため、自転車ツーキニストなどCO2排出削減政策など広川町に適した施策を検討頂きたい。

竹下　障がい者の就労支援、現状の問題と対策は何か。

町長　就労系の障害福祉サービスは概ね計画を充足していると判断。一般企業への就労が今後の課題であり、関係機関と連携し障害者の働きやすい環境の整備と就労の支援に取り組んでいく。

竹下　キャリアパスを見据えた役場職員の人事管理（育成）はなされているか。

町長　研修計画等を作成しているが、役場職員のキャリアパスとして明確に定めたものはない。

竹下　下水道整備縮小に係り自ら言及された町長自身の責任について、下水道会計の赤字を如何にするつもりか。

町長　計画変更に関する説明責任は持っているが、下水道会計をどうするかということまで責任を取るという話はしていない。

竹下　高鍋町長作成の現都市計画では平成二十五年頃の見直しとされているが、何故これほど遅くなったのか。

町長　3号線の渋滞緩和のための唐尾線の新設が実施できず、代替として3号線バイパスの陳情要請をやってきたため、見直しが延び延びとなってしまった。

竹下　国道3号線バイパスについて、福岡国道事務所に上広小公共用地の供出を正式に申し出ている以上、学校建て替えの代替地について腹案はあると考えて良いか。

町長　答えるような腹案等はないが、この辺がいいだろうか、あの辺がいいだろうかという話は幾つもある。

竹下　オリゲ（Orige）、ホドク（Hodoku）は本来の活用がなされているか、今後も必要か。

町長　必要だから作ってきている。ただ、使用方法、運用方法は考え直さないといけない。

竹下　義務教育の水泳の意義は何か。

町長　保命のため、水に慣れさせること。

竹下　少人数学級の意義を改めて伺う。

町長　きめ細やかな教育を実践するため。反面、一定の集団形成も必要なため、主体的な学びと協働的な学びの両立が理想。

竹下　英治 議員